

公益社団法人 乙訓青年会議所

2022年度 地域開発委員会 基本方針

委員会方針：和～みんな一緒に～

委員長 谷 政憲

<p>課 題 背 景</p>	<p>高度経済成長期に大量生産、大量消費社会が形成された日本では、経済活動による環境破壊が進んでいる問題があります。また将来的な人口減少と超高齢社会により経済危機をもたらす可能性も課題としてあります。</p> <p>あらゆる資源を効率的に循環させるだけでなく、経済、社会、環境すべてに好循環を生み出す循環経済の推進を持続可能な地域の発展につなげる必要があります。</p>
<p>設 置 目 的</p>	<p>地域資源を活かした循環経済の仕組みを創出することを目的とする。</p>
<p>S D G s の ゴ ー ル</p>	<p>1 1 【住み続けられるまちづくりを】</p> <p>1 1. 3 【2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。】</p> <p>乙訓地域の人々とともに運動を展開し、地域における将来ビジョンとともに構築する一助とする。</p> <p>1 7 【パートナーシップで目標を達成しよう】</p> <p>1 7. 1 7 【さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。】</p> <p>地域における行政、市民、諸団体とパートナーシップを組み、事業の質を向上させる一助とする。</p>
<p>目 指 す べ き 状 態</p>	<p>1. 1月例会・新春交歓会の開催</p> <p>運動の方向性や想いを理解し、様々なパートナーとの協働関係を確立することで、地域の発展に向けた活動がさらに活性化された状態。</p> <p>2. 5月例会</p> <p>新たな価値を創造し、地域資源を活かした活動を行うことで、地域の発展に向けた循環経済活動が動き始めた状態。</p> <p>3. 9月オープン例会の開催</p> <p>ともにまちづくり事業を行い地域の魅力を創出し、新たな活動に取り組むことで、地域の発展に向けた運動が持続的に展開されている状態。</p> <p>4. 市民・行政・次世代まちづくり推進事業の実施</p> <p>地域の課題が解決できる環境を構築し、持続的な運動を展開していくことで、地域の発展に向けた取り組みを次々と生み出している状態。</p> <p>5. 防災ネットワークの連携強化と防災意識に関する事項</p> <p>地域の人々と防災についてともに考え、意識が向上することで、防災における新たな取り組みを展開している状態。</p> <p>6. 会員拡大活動の実施</p>

	<p>入会候補者がＪＣの魅力に触れる機会を増やし、ＪＣが地域に与える影響について入会候補者の理解につなげることで、持続可能な地域の発展に向けてともに活動している状態。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1. 1月例会・新春交歓会の開催 メンバーと参加者との協働体制を築くために、本年度の乙訓青年会議所が行う活動内容や想いを伝える機会を創出し、理解して頂くことで、協調意識の向上へつなげます。</p> <p>2. 5月例会の開催 地域資源を活かした活動を行うために、京都ブロック協議会の取り組みを通じて京都の魅力を再認識し、知見を広げることで、新たな価値創造につなげます。</p> <p>3. 9月オープン例会の開催 地域の持続的な発展のために、地域の人々や京都ブロック協議会と協働し、新たな可能性を最大限に発揮できるまちづくり事業に挑戦することで、地域の魅力創出につなげます。</p> <p>4. 市民・行政・次世代まちづくり推進事業の実施 乙訓地域の新たな成長戦略のために、新たなパートナーとの連携を促進し、ユニークな発想を取り入れることで、地域の課題が解決できる環境構築につなげます。</p> <p>5. 防災ネットワークの連携強化と防災意識に関する事項 地域の人々の防災意識を高めるために、自身の住まう地域の防災状況を伝え、防災の現状と対策をともに考えることで、防災への認識を深めることへつなげます。</p> <p>6. 会員拡大活動の実施 会員数拡大に貢献するために、地域の方々と接することの多い委員会であることを自覚し、日々の活動を通じてＪＣ運動の意義や活動のすばらしさ・楽しさを伝えることで、入会候補者がＪＣの魅力に触れる機会につなげます。</p>
<p>委員会方針</p>	<p>地域づくり、まちづくりは、良い手法を考えても、周りからの共感を得られず協力がなければ、ただの絵空事に終わってしまいます。逆に、地域の人々から共感と協力が得られればともに大きな運動を巻き起こすことも可能です。このように、地域開発委員会での活動には地域の人々との協働が不可欠であることを肝に銘じ、委員会メンバーに他者との協働の大切さを教えるとともに、事業を通じてＪＣ運動が地域に与える影響を肌で実感して頂きます。乙訓青年会議所は地域の人々と協働し運動を展開することで、まちに認知されてきた団体であることを忘れることなく、まちに寄り添った委員会運営を行ってまいります。</p>
<p>委員会メンバー</p>	<p>委員長：谷 政憲 副委員長：林 元気 運営幹事：金田 尚秀 委員：小澤 遼介、河地 佑紀、西條 利洋、松田 亜友未</p>